

インフィニティ国際学院長 大谷氏

地域の未来 国際化が鍵

デーリー東北政経懇話会

デーリー東北政経懇話会12月特別例会が10日、八戸パークホテルで開かれた。八戸学院グループのインターナショナルスクール「インフィニティ国際学院」学院長の大谷真樹氏が「世界視点からの地域社会の未来」と題して講演し、旧来の価値観にとらわれず北奥羽地方の将来像を再構築するよう呼び掛けた。

大谷氏は八戸市出身。ベ
ンチャー企業経営を経て八
戸学院大客員教授、同大学
長を歴任した。



講演する大谷真樹
学院長＝10日、八
戸パークホテル

講演で大谷氏は、スマー

トフォンの急速な普及などを例に「過去の経験は、かえって足かせになってしまおう」と指摘。特に日本の教育分野が旧態依然だとして、「未来から逆算して教育の内容やスタイルを考えるべきだ」と強調した。

また、アジア各国の急激な経済成長やAI（人工知能）による技術革新、GDP（国内総生産）の推移などを紹介。「日本は一人負けの状態、外国人労働者を選ぶのではなく、選ばれざる立場。やがて外国人すら来なくなる恐れもある」と警鐘を鳴らした。

今後の戦略として、グローバルに活躍できる人材の育成と、各地域の強みを生かした産業の創出が鍵だと力説。八戸市の強みについては多彩なインフラやアクセスの良さなどを挙げ、「アジアの準富裕層をターゲットに、観光ビジネスに目を向けては」とアドバイスした。

（井上周平）